

## 8 救急訓練 ～心肺蘇生法・AED、ケガの対処、搬送法

### 1 ねらい

急病人やケガ人が発生した場合、救急車が到着するまでに、その場に居合わせた者が応急手当を速やかに行うことができれば、傷病者の救命効果が向上し、治療の経過にもよい影響を与えます。

そのためには、応急手当の方法をあらかじめ学習し、いざという時にすぐに行えるようにしておく必要があります。そこで、実践に即した各種救急訓練を体験し、その技法を取得するとともに日頃から助け合うことの重要性・いのちの大切さを学びます。



### 2 必要なもの（参加人員30人程度の目安）

以下は目安ですが、事前に消防署に相談して、借りられるものがあれば使いましょう。

| 実施内容         | 品 目                                     | 数 量                         |
|--------------|-----------------------------------------|-----------------------------|
| 心肺蘇生法・AED取扱い | 蘇生訓練用人形<br>訓練用AEDトレーナー<br>(人工呼吸用マウスピース) | 3～4<br>3～4<br>可能であれば訓練参加人数分 |
| ケガの対処        | 三角巾<br>包帯など<br>厚手の雑誌（電話帳など）             | 訓練参加人数分<br>訓練参加人数分<br>1     |
| 搬送法          | 毛布<br>棒（竹竿など）                           | 1<br>2                      |

### 3 実践に即した訓練

#### (1) AEDを用いた心肺蘇生法

訓練参加者を数班（約10人/班）に分け、実技を中心とした訓練を実施します。

- ① 心肺蘇生法及びAEDの取扱いについて指導者から展示・説明を行います。
- ② シナリオに沿ってAEDを使用した心肺蘇生法を行います。

#### (2) ケガの対処

- ① 外傷などのケガに対し三角巾や包帯を使っての被覆処置や止血法を実践します。
- ② 骨折に対し身近なものを使って負傷部位を固定します。



### (3) 搬送法

傷病者の状態や負傷部位、救助者の人数を考慮し最適な傷病者搬送法を習得します。

#### ① 徒歩での搬送（2人搬送）

1名は背中側を抱え、もう1名は被搬送者の足を抱え、2名で同時に持ち上げ、足側から進んでいきます。



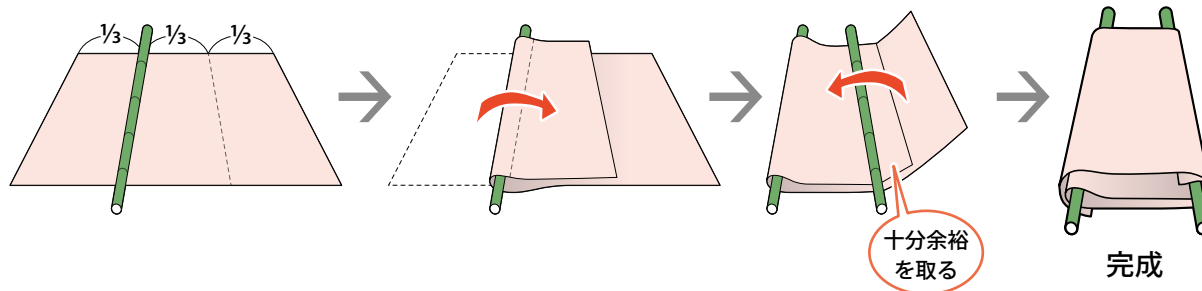
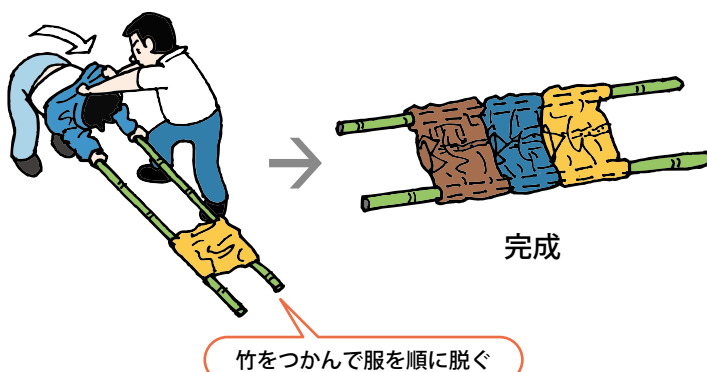
#### ② 毛布での搬送（1人搬送）

毛布やシートで全身を包み込み、両肩を浮かすように引っ張り、搬送します。



#### ③ 応急担架の作成

毛布および竹竿などを使用して簡単に担架をつくることができます。また、救助者の上着を数枚つなぎ合わせて作成する方法などを体験します。



## 4 事前準備

### (1) 訓練会場の準備

訓練参加人数に適した会場を用意してください。

### (2) 訓練で使用する資機材

訓練で使用する蘇生訓練用人形及び訓練用AEDトレーナーは、事前に消防署に相談してください。人工呼吸用マウスピースが必要な際は消防署に相談してみましょう。

なお、救急訓練では人工呼吸用マウスピースの代替品としてガーゼを使用することも可能ですが、いざという時に備えて、この機会に準備しておくとい良いでしょう。

## 5 訓練の申込み

最寄りの各消防署に問い合わせてください。